

非配偶者人工授精

子どもへの告知は

岡山大公開セミナー

公開セミナー「生と知や「出自を知る権利」
死の倫理 配偶子提供 について考えた。」

を伝える」（岡山大 匿名の第三者から精
学院保健学研究科主 子提供を受ける非配偶
催）が25日、岡山市北 者間人工授精（AID）
区鹿田町、同大鹿田キ は、国内で60年以上前
ヤンパスであり、第三 から行われ、1万5千
者からの精子提供によ 人以上が生まれている
る生殖補助医療で生ま とされる。

れた子どもたちへの告 東京医科大産科婦人

科の久慈直昭教授は演。告知について「3 年ショックを受ける」
「家族を創る AID へ4歳で話せば自然」と説明した。
と告知」をテーマに講に受け入れることが 名古屋経済法学部



でき、家族の穴戸圭介准教授は
関係が崩れ 「出自を知る権利を点
検する」と題して話し
ることはな 一方でた。精子提供者（ドナ
偶然知ってし）の情報開示につい
しまうと混て「AIDで生まれた
乱し、大きなことを親から知らされ
ていなければ、子ども
精子提供で生 が情報開示を求める動
まれた子への きにはつながらない」
告知などにつ などと述べた。学生や
いて考えたセ 市民ら約60人が聴講し
セミナー た。（伊丹友香）